

平成29年度 清須市国民健康保険特別会計予算(案)

【歳入】

科 目		29年度予算額(案) (A)	28年度予算額 (B)	比較 (A)-(B)
国民健康保険税	現年度分	1,232,318	1,265,865	△ 33,547
	滞納繰越分	60,022	59,765	257
	国民健康保険税計	1,292,340	1,325,630	△ 33,290
国庫支出金	負担金	1,195,286	1,186,799	8,487
	補助金	181,133	156,708	24,425
	国庫支出金計	1,376,419	1,343,507	32,912
療養給付費交付金		107,727	92,506	15,221
前期高齢者交付金		1,544,297	1,578,252	△ 33,955
県支出金		395,102	369,513	25,589
共同事業交付金		1,760,252	1,666,650	93,602
財産収入		1	1	0
一般会計繰入金	法定分	329,730	332,850	△ 3,120
	法定外分	572,120	615,300	△ 43,180
	繰入金計	901,850	948,150	△ 46,300
繰越金		20,000	20,000	0
その他		8	8	0
歳入合計		7,397,996	7,344,217	53,779

【国民健康保険税】
○現年度分の減少→
・税率改正による一人あたり保険税の影響 (+2.0%) +25,993千円
・被保険者数の減少による影響 △61,487千円

【国庫支出金】(療養負担金で32%、調整交付金で9%)
負担金⇒国が一定の負担区分に基づき義務的に負担
補助金⇒国が援助として交付

【療養給付費交付金】
退職被保険者等の医療費負担に対し、社会保険診療報酬支払基金が負担する交付金

【前期高齢者交付金】
65歳～74歳の医療費負担に対して、保険間の不均衡を負担調整により行う制度。前期高齢者加入者数の多い国保に対する交付金。
○交付金の減少⇒前々年度の精算金による

【共同事業交付金】
県内市町村の財政運営等の安定化を図る共同事業の交付金
○高額医療費共同事業⇒80万円を超える療養給付費の費用額を対象
○保険財政共同安定化事業⇒1円～80万円までの療養給付費の費用額を対象

【歳出】

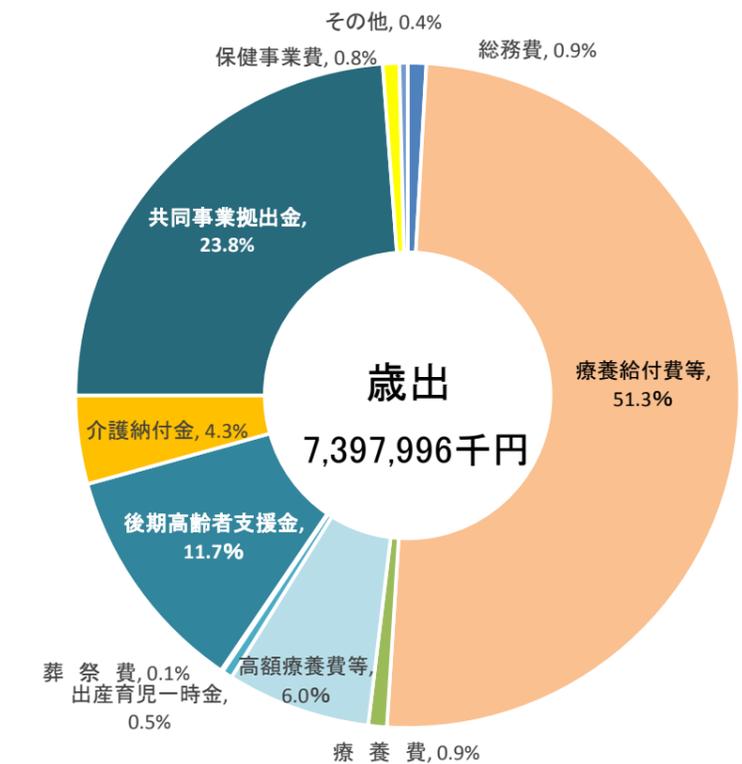
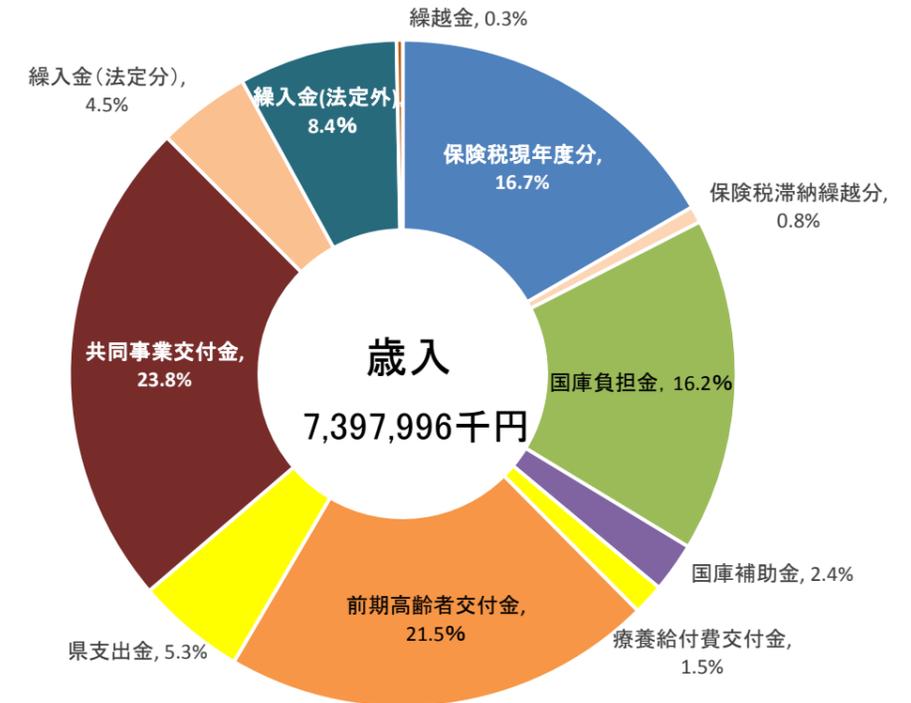
科 目		29年度予算額(案) (A)	28年度予算額 (B)	比較 (A)-(B)
総務費		65,909	76,725	△ 10,816
保険給付費	療養給付費等	3,707,247	3,769,928	△ 62,681
	療養費	63,146	78,344	△ 15,198
	高額療養費等	520,810	441,238	79,572
	出産育児一時金	37,819	37,819	0
	葬祭費	4,750	4,750	0
保険給付費計		4,333,772	4,332,079	1,693
後期高齢者支援金等		828,064	858,118	△ 30,054
前期高齢者納付金		3,013	468	2,545
老人保健拠出金		26	33	△ 7
介護納付金		318,524	320,191	△ 1,667
共同事業拠出金		1,760,252	1,666,650	93,602
保健事業費		61,231	63,347	△ 2,116
一般会計繰出金		1	1	0
予備費		20,000	20,000	0
その他		7,204	6,605	599
歳出合計		7,397,996	7,344,217	53,779

【保険給付費】
○療養給付費・療養費の減少⇒被保険者の減による
○高額療養費の増加⇒高額薬剤の調剤医療費による

【後期高齢者支援金等】
後期高齢者医療制度を支える為の支援金
○支援金の減少⇒被保険者の減による

【介護納付金】
介護保険を支えるため40歳～64歳までの被保険者が納付する納付金

【共同事業拠出金】
県内市町村の財政運営等の安定化を図る共同事業の拠出金



0.732% 増(対前年比)